



グループ別の主な活動をご紹介します



チーム①【蚊の対策】

「不快な蚊をなんとかしたい！」と活動を進めているのが、蚊の対策チーム。夏に水が減ってよどんでしまう森の小川が、蚊の発生源になっているのでは？と考え、地下水のタンクの水を流す通水実験を夏休み中に2度実施しました。両日ともに同じ条件で、サッカー場にあるバルブを開け、水が森の奥まで到達する時間を記録しました。



通水実験を2度実施しました(8/25・9/10)

チーム②【動物調査&保護対策】

昨年度から自動撮影カメラを使い、大学の森に生息する動物調査を行っている動物チーム。今年度は、自動撮影カメラに加え、これまで入ったことのない森の奥部を探索したり、夜間の調査をしたり、「雪が降る前までに、とにかく野外調査を行う！」と定期的に森へ足を運んでいます。

この調査結果をもとに、森の生き物たちを守るための具体的な方法を考えていく予定です。



アライグマが頻繁に訪れています

チーム③【樹名板製作】

グループ③は、もともと「川の歴史」に注目して資料収集を試みていましたが、9月21日に行った植物の勉強会をきっかけに、活動の方向性を転換しました。新たな目標として「樹名板の製作」に取り組むことに。どの木にどんな樹名板を付けるのか、検討を進めています。

歴史を「知る」活動から、森の魅力を「伝える」活動へ、今後の展開にご期待ください。



植物調査・勉強会に参加

チーム④【遊歩道計画】

森を教育の場として安全に楽しく散策できるように、遊歩道の設置を計画しています。具体的なルート設定を進めるにあたり、学生同士で議論を重ねるだけでなく、7月23日には学外の企業との打ち合わせにも同席しました。

他グループの意見や専門的な視点も取り入れながら、将来の森の姿をイメージしつつ、計画を進めていきます。



打合せで計画の手順を確認

秋の植物調査・勉強会を実施

9月21日(日) 13時～15時 大学の森周辺

昨年に続き、今年も植物の専門家をお招きして植物調査を行いました。3名の学生が参加し、勉強会形式で、歩道沿いの植物を中心に、見分け方や特徴を教わりました。

調査結果はリストとして整理し、今後の活動につなげていきます。



\\PICKUP NEWS//

大学の森での授業紹介



大学の森で、動植物を探るグループワークを実施

【基礎演習】

10月1日(水) 1・2講義目

(対象:1年・地域共創学群所属学生)

「基礎演習」の第2回目の講義で、地域共創学群所属学生が「大学の森」をフィールドとしてグループワークを行いました。

本科目は、本学の施設・環境に親しみをもち、仲間とともに学ぶ土台を築くことを目標とし、複数教員によるペアティーチングとSA(学生アシスタント)により実施しています。この日は地域の自然資源への理解を深めるワークを、複数人と協働して取り組みました。

大学の森プロジェクト

活動日時: 毎週木曜5講時(16:20-17:50)

活動場所: 1号館1006室・大学の森周辺

活動メンバー: 12人(4年2人・3年3人・2年1人・1年6人)

活動メンバー募集中!

NEWSLETTER

発行: 札幌大学大学の森プロジェクト

〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7-3-10

TEL: 011-852-9110(総務部・企画部)